

中央公民館文化講演会 『つぐみ』のコンサート

8月20日、『つぐみ』のコンサートが中央公民館で催されました。開場前には、町民の皆さんや遠くからファンクラブの方も多数来られ、行列ができるにぎわいでした。

「自身の半身不随の生活から音楽を通して、心身ともに奇跡的な回復をされた経緯談を中心に「愛と人との絆」を歌われ、トーク&ソングで感動あり笑いありで、「歌う旅芸人」の本領を發揮されていました。

この日は、生放送の24時間テレビの出演があるにもかかわらず、終演時間を忘れるほど熱演され、大変楽しいコンサートとなりました。



▲身近にあることを楽しい歌で聴かせてくれました

交通安全街頭キャンペーン

9月27日の午前7時30分から、播磨西小学校1年生の子ども警察官8人が、山陽電鉄播磨町駅の通勤・通学利用者に対して、「交通安全に協力してください」と呼びかけて、交通安全啓発活動を行いました。

播磨町長や白バイ隊員も参加し、多くの人に交通安全を訴えかけました。



▲とっても元気に活動できました

杉原智さん 長期勤続農業委員表彰受賞



播磨町農業委員会前会長杉原智さんが、農業委員会法制定60周年記念事業において、兵庫県農業会議から長期勤続農業委員表彰を受賞されました。

この賞は、農業委員会組織の運営に顕著な功績のあった農業委員に贈られるものです。

杉原さんは、平成8年7月に農業委員に就任以来連続5期15年間勤められ、平成14年7月からは農業委員会会長として活躍されました。

また、長年にわたり地域農業の振興などに大きな貢献をされたことから兵庫県農業会議会長感謝状も贈られています。

播磨町ふるさと賞 田淵貴志さん(宮北)



播磨町ふるさと賞は、文化、スポーツの分野でめざましい活躍をし、町民に希望と活力を与え、ふるさと播磨の名を広く知らしめた個人または団体に對し、その栄誉をたたえ贈るものです。平成8年に創設し、田淵君で18人目です。

は、8月に開催された全国中学校体育大会(第38回全日本中学校陸上競技選手権大会)の110メートルハードルで準優勝の成績を収められました。田淵くんは、オリンピックを見て憧れ、中学校1年生のときから陸上競技を始めました。

「難しいと思うが、挑戦したい」と思い、始めたハードルで自己新を出して、準優勝の成績でした。満足感があつたとお話しされました。

10月のジュニアオリンピックで頂点を目指したい。高校でも陸上を続けたい。将来はオリンピックに出場したいと、心境を語ってくれました。

町長からは、「上のステージを目指して頑張ってください」と記念の盾が贈られました。

楽屋裏

今年も大中遺跡まつりの季節になりました。播磨町らしいテーマを持ったまつりは、毎年、近隣市町からも訪れる大勢の人でにぎわっています。

今回は前夜祭と題して、大中遺跡まつり(11月5日)よりも1週間早い10月29日(午後5時から)も催しが用意されています。気軽にふらっと散歩気分、お出かけしてみたいかがでしょうか。

また、11月5日の大中遺跡まつり当日には、東北地方太平洋沖地震の被災地復興を祈り、東北各県の特産品の販売や東北民謡踊りの披露も予定されています。ぜひ、ご家族やお友達とお楽しみください。

(宮)

わんぱくはりまっ子



おかだ なお 岡田 奈桜ちゃん(1歳) 南大中

ニコニコの可愛い笑顔 いつまでも忘れずに大きなあれじいじ、ばあばより

播磨ふれあいの家 だより



雪景色もおすすめ▶

お正月は当館下!

早めのご予約が安心です。

- 会席プラン ¥12,500~¥15,650
- 黒毛和牛すきやきまたはしゃぶしゃぶプラン ¥13,550
- 但馬牛すきやきまたはしゃぶしゃぶプラン ¥15,650

いずれも大人1人 1泊2食の料金です。

冬だからこゝろ無料送迎バスをご利用ください。

※65歳以上の方には、2,000円の助成券があります。福祉グループ☎079(435)2361 お問い合わせください。

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

いいね! はりま

町政 レポート No.58



▲子どもたちの演技に大きな声援が送られました

秋が一段と深まってまいりました。庁舎のペランダに設置した「緑のカーテン」もそろそろ今年の役目を終え、これからは役場周辺の桜の紅葉が見られる季節となってきます。郷土資料館や博物館では、今、特別展を開催中です。11月5日には大中遺跡まつりも開催されますし、ぜひ足を運んでいただければと思います。

◆9月、10月は運動会シーズンです。播磨町でも中学校を皮切りに、小学校、幼稚園、シニアクラブの運動会が行われました。家族総出の応援風景や、徒競走で位置に着く子どもたちの緊張した面持ちは今も昔も変わりありませんが、会場風景は少しずつ変化してきています。地球温暖化や紫外線などへの対策でしょうか、最近では開催時期の早い運動会では、子どもたちの席にテントが設置されています。また、演技の合間に給水タイムも設けられています。町のキャラクター「いせきくん」「やよいちゃん」も一緒に「土器ドキダンス」を踊って運動会を盛り上げています。今年、どの運動会でも流れていたのはテレビドラマで流行った「マルマル、モリモリ…」のメロディでした。こんなところにも世相が反映されているのです。そして、とりわけうれしいことは、民生委員さんやシニアクラブ、交通指導員さん、地域の方々などもご観覧いただいて、子どもたちの演技を応援して下さいました。地域の方々から子どもたちの成長を共に見守っていただいていることは心強い限りです。

◆播磨町には保育園が4園あります。先日4園の園長さんと意見交換会をしました。それぞれが熱き想いを持って日々の保育に携わっていらっしゃることに、敬意を表します。ここ数年、耐震化や建替など園舎の整備も進んでいます。大切な幼児期の保育環境を、園と町が連携し、さらに充実させていきたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子